



ももぐみだより

先月、節分制作の様子をお伝えしましたが、2月2日にはその帽子を被り豆まきをしました。「節分=鬼」のイメージがある子どもたちは始まる前ドキドキ緊張した面持ち。鬼の制作を身に付けたつき組さんが「鬼だぞ～」とやってきました！

10の姿—社会生活との関わり
豊かな感性と表現



前日から新聞紙を丸めて投げる豆を作りました。つき組さんが入ってくると怖くお部屋の後ろのほうへ隠れる子どもや元気いっぱい豆を投げ、つき組鬼を退治する子どもたち！



もうすぐはとぐみさん！

朝、夕方の準備などを保護者の方と練習をしていただいているおかげで、少しずつ自分でできることが増えてきました。もも組さんでも以上見さんへの移行の練習を始めています。

以上見さんのお昼ご飯がバイキング形式なので、もも組さんも自室バイキングを始めました！



1. 2日目 最初はプレート、フォーク、お茶だけを運ぶ練習から始めました。

3～6日目 3.4日目にはご飯を5.6日目にはお汁も運び始めました。

おもたいよ～

しゅちよ～にしゅちよ～に



並んでプレート、フォークをとるよ～



すこしください！

このくらいい～っぱいください！



コップは取ってなしに、お汁のお椀も一回り大きくなりました

以上見さんと同じように「いっぱい」「少し」を自分の言葉で伝えていきます。最初はいっぱい、少しの意味がわからずお野菜の量を聞かれて「いっぱい」と伝え、食べれずに残してしまうこともありました。多めってこのくらいなんだとわかり、次の日にはお野菜は苦手だから「少しだけください」と伝える姿や身振り手振りで伝えようとする姿がみられました。おかわりも今までは自分の椅子に座って先生がついでくれるのを待っていましたが、先生の所までいって「〇〇のおかわりください」と伝えていきます。5.6日目にはすべての食事をトレーに乗せて運びましたが「おもたいよ～」と言いながら、こぼさないようにバランスをとりながら慎重に運んでいました。10の姿—言葉による伝え合い・豊かな感性と表現・自立心



歯磨き



おかわり



片付け